

水道中のトリハロメタンと慢性腎臓病

水道水におけるトリハロメタンの長期曝露と慢性腎臓病（CKD）リスクとの関連性を評価した結果が JAMA Netw Open 誌に報告されました。

米国の基準値である 80 $\mu\text{g/L}$ 未満のトリハロメタン濃度への曝露でも慢性腎臓病のリスクが増加することを示し、特に臭素化トリハロメタンがその主な要因でありました。

ちなみに、日本ではトリハロメタンの濃度が 100 $\mu\text{g/L}$ 以下になるように基準を定めています